Cisco M390 コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス クイック スタート ガイド

1 ウェルカム

Cisco M390 コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス（Cisco M390）をお選びいただき、ありがとうございます。

Cisco M390 コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス は、レポート処理、トラッキング、隔離された E メール メッセージの管理、および Web セキュリティ アプライアンスの構成時の設定を一元化します。また、自動データ バックアップも実行できます。

このガイドでは、アプライアンスの基本的な設定手順について説明します。

2 はじめる前に

設置を開始する前に、必要な品目が揃っていることを確認してください。次の品目が含まれています。Cisco M390 コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス には

- レール キット
- 電源コード
- コンソール ケーブル
- ご使用のアプライアンスのオンライン ドキュメントの場所を示すカード

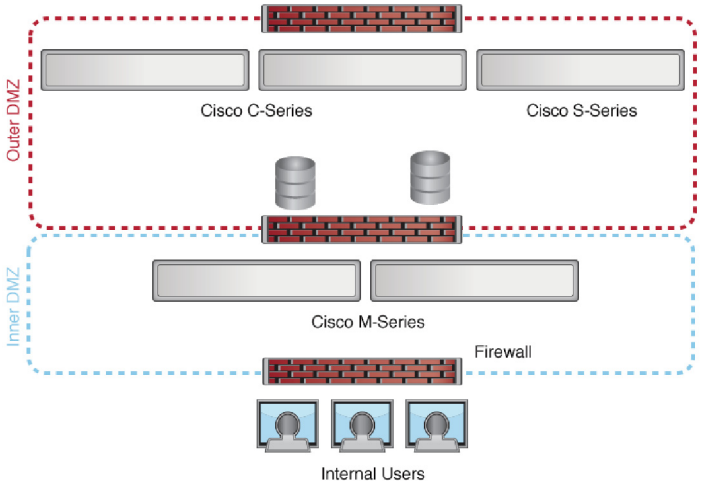
次の品目は各自で用意する必要があります。

- ラック キャビネット棚（アプライアンスをラックマウントする場合）
- レールを組み立てるためのプラス ドライバ
- 10/100/1000 BASE-TX TCP/IP LAN
- アプライアンスをネットワークに接続するためのイーサネット ケーブル
- デスクトップまたはラップトップ コンピュータ
- Web ブラウザ（または、SSH およびターミナル ソフトウェア）
- 「設置の計画」セクション（3 ページ）のネットワークおよび管理者の情報

3 設置の計画

Cisco M390 アプライアンスは、内側の DMZ 内に設置し、外側の DMZ にある Cisco C シリーズおよび S シリーズ アプライアンスと通信するように設計されています。

次のようなネットワーク構成を計画してください。



4 必須設定の記録

作業に取り掛かる前に、システム、ネットワーク、および管理者の設定について次の情報を書き出してください。システム セットアップ ウィザードの実行時には、この情報が必要になります。

システム設定（System Settings）	
システム アラート メールの送信先:（Email system alerts to:）	
タイムゾーン情報:（Time Zone Information:）	
NTP サーバ:（NTP Server:）	

システム設定（System Settings）	
管理者パスワード：（Admin Password:） この新しいパスワードの入力後は、デフォルトのパスワードは無効になります。 パスワードは 8 文字以上で、少なくとも 1 つの数字、1 つの大文字、1 つの小文字、1 つの特殊文字を含める必要があります。	
オートサポート：（AutoSupport:）	有効化/無効化（Enable/Disable）
ネットワーク設定（Network Settings）	
完全修飾アプライアンス ホスト名：（Fully Qualified Appliance Hostname:）	
IP アドレス（IP Address）	
ネットワークマスク：（Network Mask:）	
デフォルト ゲートウェイ（ルータ）の IP アドレス：（Default Gateway (Router) IP Address:）	
DNS（インターネットのルート DNS サーバを使用するか、または各自のサーバを使用する）：	

5 ラックへのアプライアンスの取り付け

『*Cisco x90 Series Content Security Appliances Installation and Maintenance Guide*』の手順に従って Cisco M390 コンテンツセキュリティ管理アプライアンスを取り付けます。

アプライアンスの配置

- 周囲温度:アプライアンスの過熱を防止するため、周囲温度が 40 °C(104 °F)を超える場所では操作しないでください。
- エアーフロー:アプライアンス周辺のエアー フローが十分であることを確認してください。
- 機械的加重:危険な状況を避けるため、アプライアンスが水平で安定していることを確認してください。

6 リモート アクセスのための IP アドレスの一時的な変更

ネットワーク設定を使用して Cisco M390 をリモート操作で設定するには、コンピュータの IP アドレスを一時的に変更する必要があります。あるいは、IP アドレスを変更せずにシリアル コンソールを使用して Cisco M390 を設定できます。シリアル コンソールを使用する場合は、以下の 7 の項に進みます。

(注) 設定が完了したら元に戻す必要があるため、現在の IP 設定を書き留めておきます。

Windows の場合

正確な手順は、ご使用のオペレーティング システムのバージョンによって異なります。

ステップ 1 [スタート(Start)] メニューに移動し、[コントロール パネル(Control Panel)] を選択します。

ステップ 2 [ネットワークとインターネット(Network and Internet)] をクリックし、次に [ネットワークと共有センター(Network and Sharing Center)] をクリックします。

ステップ 3 [アダプターの設定の変更(Change adapter settings)] リンクをクリックします。

ステップ 4 [ローカル エリア接続(Local Area Connection)] を右クリックして、[プロパティ(Properties)] を選択します。

ステップ 5 [インターネット プロトコル バージョン 4 (Internet Protocol Version 4)] をクリックして、[プロパティ(Properties)] を選択します。

ステップ 6 現在の設定をメモします。

ステップ 7 [次の IP アドレスを使う(Use the Following IP Address)] を選択します。

ステップ 8 次の変更を入力します。

- IP アドレス:**192.168.42.43**
- サブネット マスク:**255.255.255.0**
- デフォルト ゲートウェイ:**192.168.42.1**

ステップ 9 [OK] をクリックし、次にもう一度 [OK] をクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

Mac の場合

正確な手順は、ご使用のオペレーティング システムのバージョンによって異なります。

ステップ 1 Apple メニューを起動し、[システム環境設定(System Preferences)] を選択します。

ステップ 2 [ネットワーク(Network)] をクリックします。

ステップ 3 錠のアイコンをクリックして変更を許可します。

ステップ 4 緑色のアイコンがあるネットワーク設定を選択します。これが、アクティブな接続です。次に、[詳細(Advanced)] をクリックします。

ステップ 5 [TCP/IP] タブをクリックし、イーサネット設定のドロップダウン リストから [手動(Manually)] を選択します。

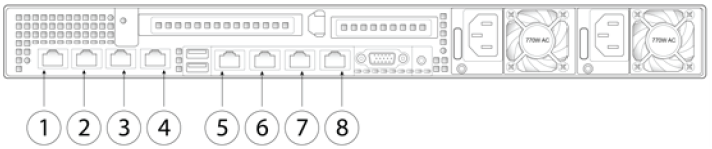
ステップ 6 次の変更を入力します。

- IP アドレス:**192.168.42.43**
- サブネット マスク:**255.255.255.0**
- ルータ:**192.168.42.1**

ステップ 7 [OK] をクリックします。

7 アプライアンスへの接続

ラップトップを管理ポートに接続します。Cisco M390 アプライアンスは、管理ポートだけを使用します。



項目	ポート	説明
1	Data 1	ギガビットイーサネット顧客データインターフェイス。
2	Data 2	ギガビットイーサネット顧客データインターフェイス。
3	Data 3	ギガビットイーサネット顧客データインターフェイス。
4	Data 4	ギガビットイーサネット顧客データインターフェイス。
5	リモートからの電源の再投入	このポートはリモートからの電源の再投入(RPC)に使用されます。
6	コンソール	アプライアンスに直接コンピュータを接続するコンソール ポート。
7	Data 5	ギガビットイーサネット顧客データインターフェイス。
8	管理インターフェイス	管理使用に限定される、ギガビットイーサネット インターフェイス。

8 アプライアンスへの電源接続と電源投入

アプライアンスに電源を接続し、Cisco M390 の前面パネルのオン/オフ スイッチを押して、アプライアンスの電源を投入します。システムの電源を投入するたびに、システムが初期化するまで 10 分待機する必要があります。

アプライアンスの電源が投入されると、アプライアンス前面にあるグリーンのライトが点灯して、アプライアンスが動作可能であることを示します。ネットワーク アクティビティ ライトが緑色であるが安定して点灯しないことがあります。

注意

アプライアンスに電源を接続した直後に電源を投入すると、アプライアンスの電源がオンになり、ファンが回転し LED がオンになります。30 ～ 60 秒以内にファンが停止し、すべての LED がオフになります。31 秒後にアプライアンスの電源がオンになります。この動作は、システム ファームウェアとコントローラが同期できるようにするための設計によるものです。

システムの電源投入が完了し LED が緑色に点灯するまで、少なくとも 10 分間待機してください。初期化の完了前に電源をオフにしてしまうと、その後アプライアンスが動作状態になることはなく、そのアプライアンスはシスコに返却する必要が生じます。

9 アプライアンスへのログイン

Web ベースのインターフェイスまたはコマンドライン インターフェイスで Cisco M390 にログインできます。

Web ベースのインターフェイス

ステップ 1 イーサネット ポートを介して Web ブラウザにアクセスする（「アプライアンスへの接続」セクション（7 ページ）を参照）には、Web ブラウザに

次の URL を入力して、Cisco M390 アプライアンスの管理インターフェイスにアクセスします。

http://192.168.42.42

ステップ 2　次のログイン情報を入力します。

- ユーザ名：**admin**
- パスワード：**ironport**

（注）　システムのセットアップ時に、ホスト名パラメータが割り当てられます。ホスト名（http://hostname）を使用して管理インターフェイスに接続するには、まず、アプライアンスの*ホスト名*と IP アドレスを DNS サーバに追加する必要があります。

ステップ 3　[ログイン（Login）] をクリックします。

コマンドライン インターフェイス

ステップ 1　コマンドライン インターフェイス（CLI）にローカルまたはリモートでアクセスします。

- CLI にローカルでアクセスするには、9600 ビット、8 ビット、パリティなし、1 ストップビット（**9600, 8, N, 1**）で端末がシリアルポートに接続するように設定し、フロー制御を Hardware に設定します。端末を物理的に接続するには、「アプライアンスへの接続」セクション（7 ページ）を参照してください。
- CLI にリモートでアクセスするには、IP アドレス **192.168.42.42** との SSH セッションを開始します。

ステップ 2　パスワード **ironport** を使用して **admin** としてログインします。

ステップ 3　プロンプトで、**systemsetup** コマンドを実行します。

10 システム セットアップ ウィザードの実行

システム セットアップ ウィザードを実行して、基本的な設定を行い、システム デフォルトを有効にします。システム セットアップ ウィザードは、Web ベース インターフェイスを介してアプライアンスにアクセスすると（または、コマンド ライン インターフェイスで **systemsetup** コマンドを実行すると）、自動的に開始されます。

ステップ 1 エンド ユーザ ライセンス契約書に同意します。

ステップ 2 「設置の計画」セクション（3 ページ）のシステムとネットワークの情報を入力します。

この設定に関する追加情報が必要な場合は、[ヘルプとサポート（Help and Support）] > [オンライン ヘルプ（Online Help）] を選択してください。

ステップ 3 設定サマリー ページを確認します。

ステップ 4 [この設定をインストール（Install This Configuration）] をクリックします。

アプライアンスが設定を受け入れていないかまたはインストールが行われていないように見えることがあります。これは、IP アドレスを変更したものの、インストールがまだ途中であるためです。

ステップ 5 前述の説明に従ってコンピュータの IP アドレスを一時的に変更した場合は、IP アドレスを元の設定に戻します。

ステップ 6 ラップトップとアプライアンスがネットワークに接続していることを確認します。

ステップ 7 「設置の計画」セクション（3 ページ）でメモしたホスト名または IP アドレスでアプライアンスに再度ログインします。ユーザ名 **admin** と、ウィザードに入力した新しいパスワードを使用します。

Cisco M390 コンテンツ セキュリティ管理アプライアンスでは自己署名証明書が使用されるため、Web ブラウザから警告が出る可能性があります。証明書を受け入れるだけで、この警告は無視できます。

ステップ 8 管理者パスワードを安全な場所に保管してください。

11 利用可能なアップグレードの確認

アプライアンスにログインした後で、Web ブラウザ ウィンドウの上部でアップグレード通知（またはコマンドライン インターフェイスで通知）があるかどうかを確認してください。アップグレードが適用可能な場合は、アップグレードをインストールする必要があるかどうかを検討します。

たとえば、新しいバージョンに、ご使用の環境内の管理対象 E メールおよび Web アプライアンスの AsyncOS バージョンとの互換性があることを確認します。

各リリースの詳細情報は、AsyncOS バージョンのリリース ノートに記載されています。

12 ネットワークの設定

ファイアウォールで、アプライアンスに対し、次のポートを使用してインターネット経由で通信することが許可されていること確認します。

- DNS：ポート 53
- SMTP：ポート 25
- HTTP：ポート 80
- HTTPS：ポート 443
- SSH（コマンドライン インターフェイスの場合）：ポート 22
- NTP：ポート 123
- FTP：ポート 21、データ ポート TCP 1024 以上

（注） ポート 443 を開かないと、機能キーをダウンロードできません。

使用する機能に必要な追加ポートを開く方法と詳細については、オンライン ヘルプのファイアウォールに関する情報、またはご使用の AsyncOS リリースのユーザ ガイドを参照してください。

13 その他の設定

おめでとうございます。これで、次に示す Cisco コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス独自の機能と、その他の有用な機能を設定できます。

- 集約メール レポート
- 集約メッセージトラッキング
- 中央集中型検査管理
- 中央集中型 Web レポーティングおよびトラッキング
- Web セキュリティ アプライアンスの中央集中型設定管理
- コンテンツセキュリティ管理アプライアンス データ バックアップ

詳細については、ご使用のアプライアンスのオンライン ヘルプまたはご使用の AsyncOS バージョンのユーザ ガイドを参照してください。

注意 **何らかの理由でアプライアンスをシャットダウンする必要がある場合は、キューおよびコンフィギュレーション ファイルの破損を防止するため、[システム管理（System Administration）] > [シャットダウン/再起動（Shutdown/Reboot）] ページを使用してください。**

14 関連資料

製品に関する資料	
Cisco コンテンツ セキュリティ管理アプライアンスのマニュアル	http://www.cisco.com/c/en/us/support/security/content-security-management-appliance/tsd-products-support-series-home.html
このページのリンク先には、リリース ノート、ユーザ ガイド、および次に示すようなハードウェアとその設置に関する情報があります。 • 『*Cisco M390 コンテンツ セキュリティ管理アプライアンス クイック スタート ガイド*』(本マニュアル) • 『*Cisco x90 Series Content Security Appliances Installation and Maintenance Guide*』(技術仕様と LED に関する情報を含む) • 安全性およびコンプライアンスに関する情報	
サポート	
E メールおよび Web セキュリティに関するシスコ サポート コミュニティ (コンテンツ セキュリティ管理アプライアンスのサポートを含む)	https://supportforums.cisco.com/community/5756/email-security https://supportforums.cisco.com/community/5786/web-security
シスコ サポート	http://www.cisco.com/en/US/support/tsd_cisco_worldwide_contacts.html

15 Cisco 通知サービス

セキュリティ アドバイザリ、フィールド ノーティス、販売終了とサポート終了の通知、およびソフトウェア アップデートと既知の問題に関する情報などの Cisco コンテンツ セキュリティ アプライアンスに関連する通知が配信されるように署名して参加します。

受信する情報通知の頻度やタイプなどのオプションを指定できます。使用する製品ごとの通知に個別に参加する必要があります。

参加するには、http://www.cisco.com/cisco/support/notifications.html に移動します。

Cisco.com アカウントが必要です。Cisco.com ID をお持ちでない場合は、https://tools.cisco.com/RPF/register/register.do [英語] で登録を行ってください。

お問い合せ先

シスコシステムズ合同会社
〒107 - 6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp

78-21151-01JA　　11/16